



### 一般質問

## 移動の未来を「共創」しよう

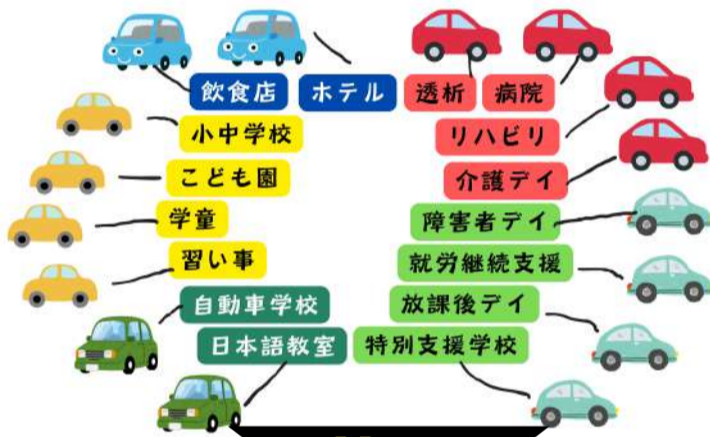
デマンド型乗合交通あさGOが10月から本格運行を始めました。一方でこども・高齢者・障害者等の送迎が大変という声が、ご家族や事業者からあります。この課題の解決には、分野や事業者の垣根を越えて手を取り合う共創の発想が重要です。



### 異事業者間の共創

**現状** 福祉事業者・観光施設等はそれぞれが車と運転手を抱え送迎を行っている。

**課題** ①広い朝来市では運行が非効率。  
②運転手不足に対応できない。

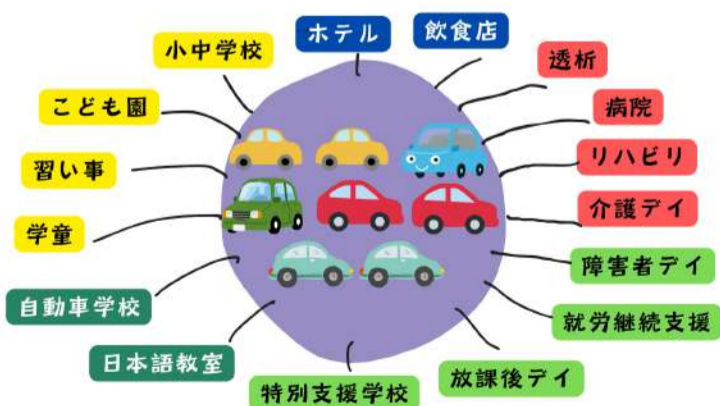


### 共創

- ①共同送迎に向けた協議会を設立する
- ②車と運転手を共有化する
- ③状況に応じて最適な車とルート进行計算するAI配車システムを作る



将来的には事業者や地域の力を活かした全体的な交通体系が良いと思う。まずは市主導であさGOを軌道に乗せたい。



**事例** 香川県三豊市の共同送迎サービス。複数の介護施設の送迎業務を地元の運送業者に委託し、AIによる最適なルートで各施設と自宅を効率的に周る。

出典:ダイハツ工業



### スクールバスとの共創

**現状** 朝のあさGOの予約が取りづらい。スクールバスは学生専用になっている。



**提案** スクールバスに大人も乗りたい。空き時間を病院送迎等に活用してほしい。

現在の運行規則上はそのような運用はできない。



**事例** コミュニティバス雪彦(姫路市)。小学生と住民が混乗。児童が降りるとき「いってらしゃーい」と他の乗客が挨拶していました。

### 病院との共創

**現状** 病院の混雑状況が読めないため、帰りの予約時間が確定しづらい。



**提案** 病院の混雑状況から自動的に帰りのバスの時刻を予測するシステムを。

通院に関しては、予約の変更の際に直近の便に乗れる機能を作っている。



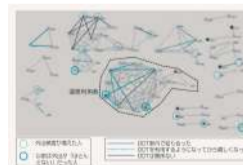
### 温泉施設との共創

**現状** あさGOで温泉等に個人個人バラバラに行くと乗合バスの効率が悪い。



**提案** 温泉同好会の立ち上げを市が支援し、乗り合いを促進してはどうか。

将来的には市が観光協会や施設と連携した企画を行う可能性もある。



**事例** 三重県玉城町での東京大学の研究。バスで温泉に通う中で新しい友達ができるなど、公共交通は社交関係の形成に役立つ。

出典:大和裕幸[他]運輸政策研究 2014年16巻4号

### 駅との共創

**現状** 朝の生野駅には暖房のある待合所が無い。



**提案** 駅の観光案内所を早朝から開放できないか。

観光協会や駅管理の委託業者等と調整し研究したい。



生野駅待合室

一般  
質問

# 開かれた朝来市に！ 広報公聴の充実と公共施設活用を

次回(12月上旬)のテーマは**こども**  
(育ち・遊び・学び)を計画しています。  
ご意見お寄せください！

**加藤** 第3次総合計画で掲げる  
**対話で拓く朝来市の未来**  
には広報公聴が重要だ。  
市長の基本的な考え方は。

**市長** **情報発信**は各部に対して真正な情報の発信と公開を  
呼びかけ、職員向けの講習会もしている。  
**広聴**は政策形成のために最も重視している過程。地域、  
世代や職業ごとにきめ細やかな意見聴取を行っている。

## 情報発信 過去の記録、途中経過、最新の情報を的確に伝えよう

**現状** 終了したイベント等の情報が  
HPからすぐに削除される。

**現状** 生野支所建替等の情報発信が  
区長会や議会に限られている。

**現状** 条例改正のHPへの反映に  
数カ月かかっている。

**提案** 過去の情報も貴重な記録。  
削除せず公開すべき。

**提案** 公共事業の進捗について  
HP等で広く伝えるべき。

**提案** 条例改正等が即座に反映  
ようにしてほしい。

市民に混乱のない形で  
公開する方法を検討する。



公開できるものについては  
公開しよう検討したい。



現行システムの変更は難し  
い。別方法で周知する。



古い情報を残すと、市民の方がこれからの情報と勘違いして会場に来てしまう等の懸念があるそうです。一方、過去の情報は市の実績や成果を後世に伝える貴重な記録です。削除するのではなく、過去の情報だと明記するなど分かりやすい方法での公開を求めました。



区長会での情報は一部の方には伝わりません。幅広く公平な情報発信を要望しました。例えば伊丹市は保健センターの複合化工事について、「壁の下地に石膏ボードを貼り付ける作業を行っています」といった進捗状況を写真と共にHPで公開しています。



例えば消防団報酬の条例改正はR4/12議会で議決しR5/4に施行されました。しかし市の例規集HPは6月の時点で古い情報のままでした。市の規定によれば、3カ月に1回業者とデータを送るとのこと。市民に最新の情報が伝わるよう改善を訴えました。



## 広聴 お金を語ろう

**現状** 税や手数料がパブリックコメント対象から除外されている。

**現状** 市内に来訪者が授乳やおむつ  
替えできる場所が少ない。

**現状** 生野・和田山駅周辺に高校生  
の居場所がない。

**提案** お金に関することも市民  
から意見聴取すべき。

**提案** 赤ちゃんの駅等の検討を  
進め、情報発信を。

**提案** 市役所の空き会議室等を  
自習室として開放すべき。

国の制度改革の動向を  
見ながら進めていきたい。



子育て世代に優しい公共  
施設の整備を進める。



常に空いている会議室は  
無い。図書館等の利用を。



今年4月の公共施設の使用料改正で、市民からの意見聴取はありませんでした。しかし税金や使用料を決めるのに、市民との対話は必要ではないでしょうか？国に率先して対応すべきと述べました。尼崎、赤穂、加西、猪名川等はすでに意見聴取の対象としています。



あさご森の図書館、竹田のenなど授乳やおむつ替えができる公共施設はありません。しかしその情報が公開されていません。赤ちゃんの駅として看板を掲げたり、民間のアプリを活用して情報発信するなど、来訪者が必要な時にすぐに活用できるよう提案しました。



高校生の多くはJRで通学していますが、生野・和田山両駅周辺に自習や談話をする場所がありません。県はこの夏、空き施設を自習室に開放する実証実験を行いました。市にも若者支援の取組を求めました。



県加古川庁舎9階食堂  
における自習室の様子



**複合化する道の駅**  
夏休み、子供たちと山口県  
を旅しました。写真は長門市  
の道の駅センザキッチン。世  
界中の珍しいおもちゃで遊  
べるおもちゃ美術館、海の幸

たっぷりのレストラン、地元食材がきれいに並べられた直売所なども大満足でした。観光船乗り場やバスターミナルも併設。複合化は朝来市の道の駅の活性化のヒントになると感じました。



来秋の次期選挙から議員定数が2名減の16名になります。労働人口が8割になる8がけ社会の中、議会も少ない人数で今以上の成果を上げるべきです。そのためにIT技術・広聴広報・専門家人材・委員会PDCAなどの議会改革を推進すべきと加藤は訴えます。

加藤たかゆき後援会  
〒679-3322  
朝来市生野町奥銀谷1513

takayuki1983@gmail.com  
電話 090-4494-6175  
Fax. 079-244-1259

一般質問  
動画配信



加藤の「詳しく見る」  
Facebook



LINEで  
お気軽に  
ご相談を

